【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公表番号】特表2012-521152(P2012-521152A)
【公表日】平成24年9月10日(2012.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2012-036
【出願番号】特願2012-500745(P2012-500745)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　52/12　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　52/18　(2009.01)
Ｈ０４Ｊ　13/00　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　7/00　４３４
Ｈ０４Ｑ　7/00　４３７
Ｈ０４Ｊ　13/00　１００

【手続補正書】
【提出日】平成25年2月15日(2013.2.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１５】
無線基地局（１３）とネットワーク制御ノード（１４）とを有するように構成された、マルチセル（１０，１１）の高速アップリンクパケットアクセス構成の無線通信ネットワークにおけるユーザ機器（１２）のアウタループ電力制御を扱う前記無線基地局（１３）であって、
前記ユーザ機器（１２）はキャリア当り１つのセルという構成で少なくとも２つのキャリアを用いる少なくとも２つのセル（１０，１１）に接続され、
前記無線基地局（１３）は前記２つ以上のキャリアのハイブリッド自動繰り返し要求の数を前記ネットワーク制御ノード（１４）にレポートするように構成されており、
前記無線基地局は、
前記少なくとも２つのキャリアの内の第１のキャリアによるハイブリッド自動繰り返し要求の数と前記少なくとも２つ以上のキャリアの内の第２のキャリアによるハイブリッド自動繰り返し要求の数とを決定するよう構成された決定回路（５０１）と、
前記決定回路（５０１）に接続され、ユーザプレーンフレームにおいて、前記決定されたハイブリッド自動繰り返し要求の数と前記第１のキャリアに関係する識別子とを前記ネットワーク制御ノード（１４）にシグナリングするシグナリング回路（５０２）とを有し、
これにより、前記ネットワーク制御ノード（１４）が、前記第１のキャリアのためのアウタループ電力制御処理において用いられるアウタループ電力制御パラメータを制御可能にし、
前記シグナリング回路（５０２）はさらに、前記ネットワーク制御ノード（１４）に対するシングルトランスポートキャリアにより前記第１のキャリアと前記第２のキャリアの複数のユーザプレーンフレームを多重化することにより、シグナリングを行うように構成され、
前記複数のユーザプレーンフレーム各々は、前記決定されたハイブリッド自動繰り返し要求の数とアウタループ電力制御処理を前記各キャリアに関係づける識別子とを含むこと

を特徴とする無線基地局。